

1 前期基本計画期間中における各年度の評価対象施策

外部評価については、各施策を平成29年度と平成30年度の2か年に分けて1回ずつ実施し、平成31年度においては、達成度などを踏まえて2つの対象施策を選定し、外部評価を実施した。

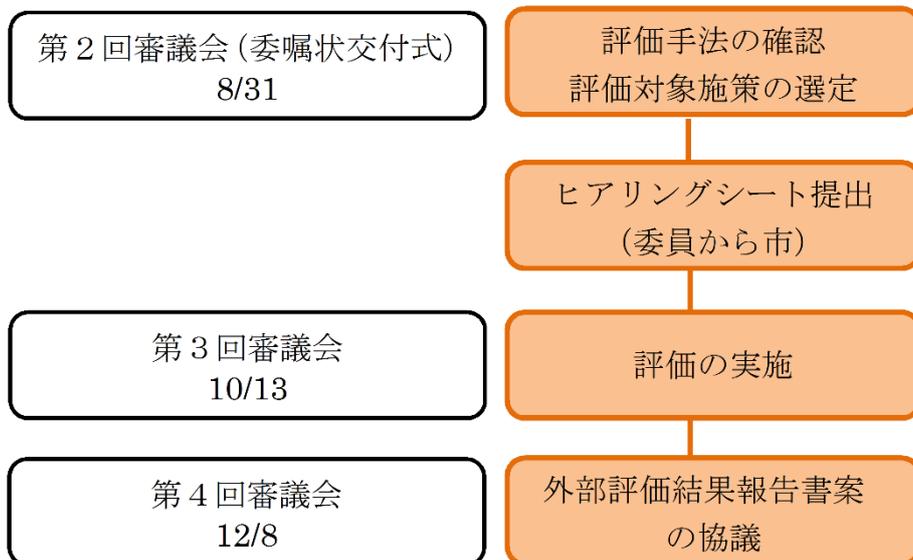
施策	平成29年度 (対象：平成28年度)	平成30年度 (対象：平成29年度)	平成31年度 (対象：平成30年度)
1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	●		
2 働く場を生み出すまちづくり		●	
3 子育てしたくなるまちづくり	●		●
2-1 「魅せる農」のまちづくり	●		
2 みどりが価値を生み出すまちづくり		●	
3 みどりがつながるまちづくり		●	
3-1 都市拠点がにぎわうまちづくり		●	
2 地域拠点がにぎわうまちづくり	●		●
3 拠点がつながるまちづくり		●	

2 平成29年度（対象：平成28年度）の概要

(1) 外部評価のフロー

施策評価シート及び事務事業評価シートを基に、進捗状況の芳しくないものや、課題の解決に当たり早期に評価を実施する必要性の有るものを対象とした。事前に委員が市にヒアリングシート（確認事項及び質問事項）を提出し、確認事項については事前に、質問事項については当日、担当課から回答した。

図1 平成29年度の日程



(2) 評価実施日（10月13日）の概要

① スケジュール

時間	内容
1時間	・施策1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくりの評価
1時間	・施策1-3 子育てしたくなるまちづくりの評価
	昼食
1時間	・施策2-1 「魅せる農」のまちづくりの評価
1時間	・施策3-2 地域拠点がにぎわうまちづくりの評価

② 評価の流れ

ア 施策の概要説明（5分）

主担当部長が評価シートに基づいて、施策の概要、評価内容を説明。

イ ヒアリング（25分）

事前に委員から提出された質問事項に基づき、主担当部長が回答した後、委員が再度確認したい事項等について質疑応答を実施。

ウ ディスカッション・まとめ（30分）

施策への取組状況等や今後の方向性等について委員間で意見交換を行い、施策の進捗状況の評価と今後の方向性の意見をまとめる。

(3) 委員から挙げられた主な問題点・課題

- ・質問に対する回答で終わってしまった。
- ・ディスカッションの時間を確保したい。

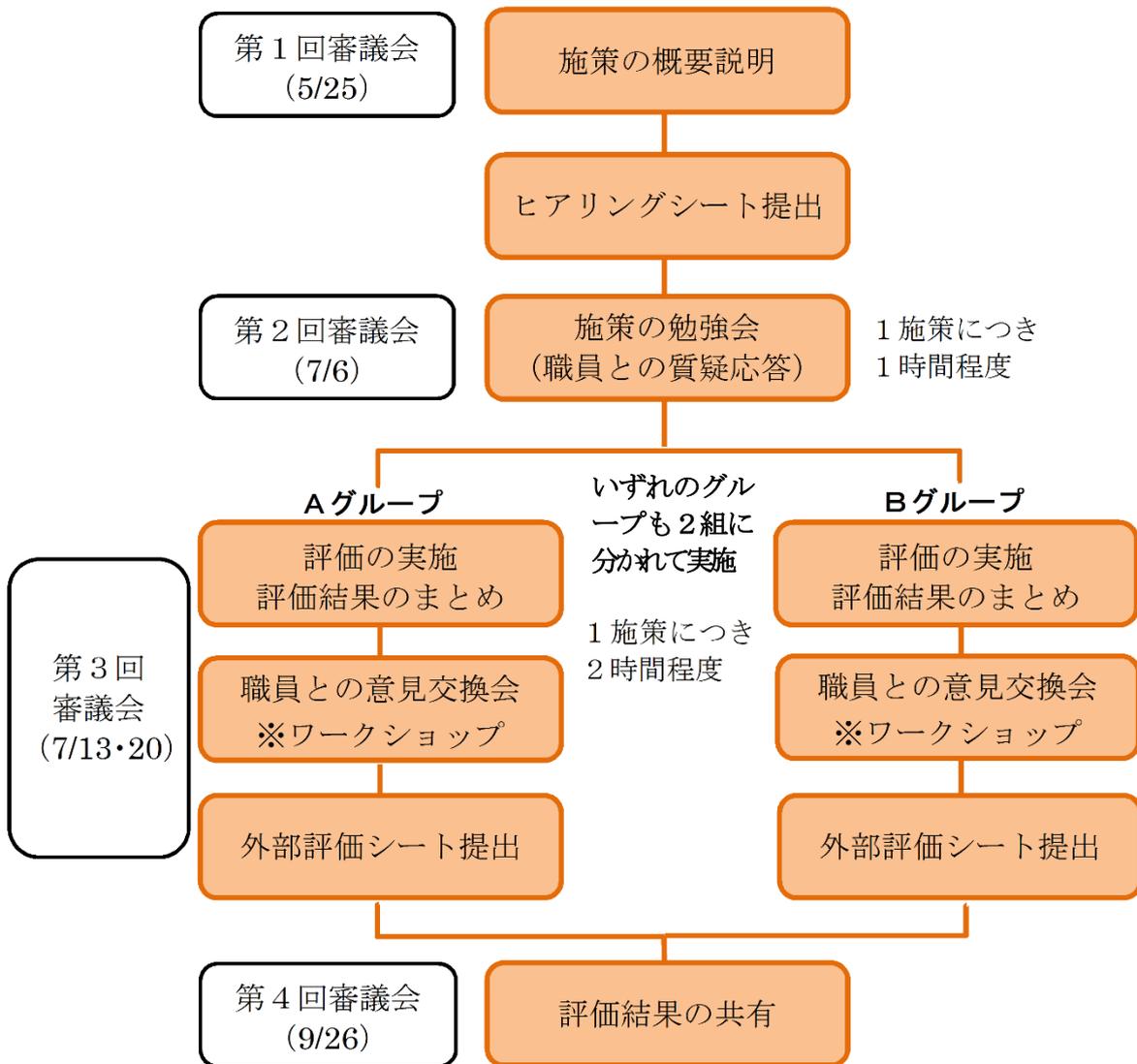
3 平成30年度（対象：平成29年度）の概要

(1) 外部評価のフロー

施策評価シート及び事務事業評価シートを基に、事前に委員が市にヒアリングシート（質問事項）を提出し、第2回審議会において担当課から回答した。

第3回審議会において、外部評価を行い、今後の改善に向けた意見をまとめた後、その意見に基づいて、今後の改善に向けた取組を具体化することを目的に、5施策のうち2施策をAグループが、3施策をBグループが担当し、委員と職員の間で意見交換を行った。なお、いずれのグループも当日はさらに2組に分かれて実施した。

図2 平成30年度の日程



(2) 評価実施日（7月13日・20日）の概要

① スケジュール

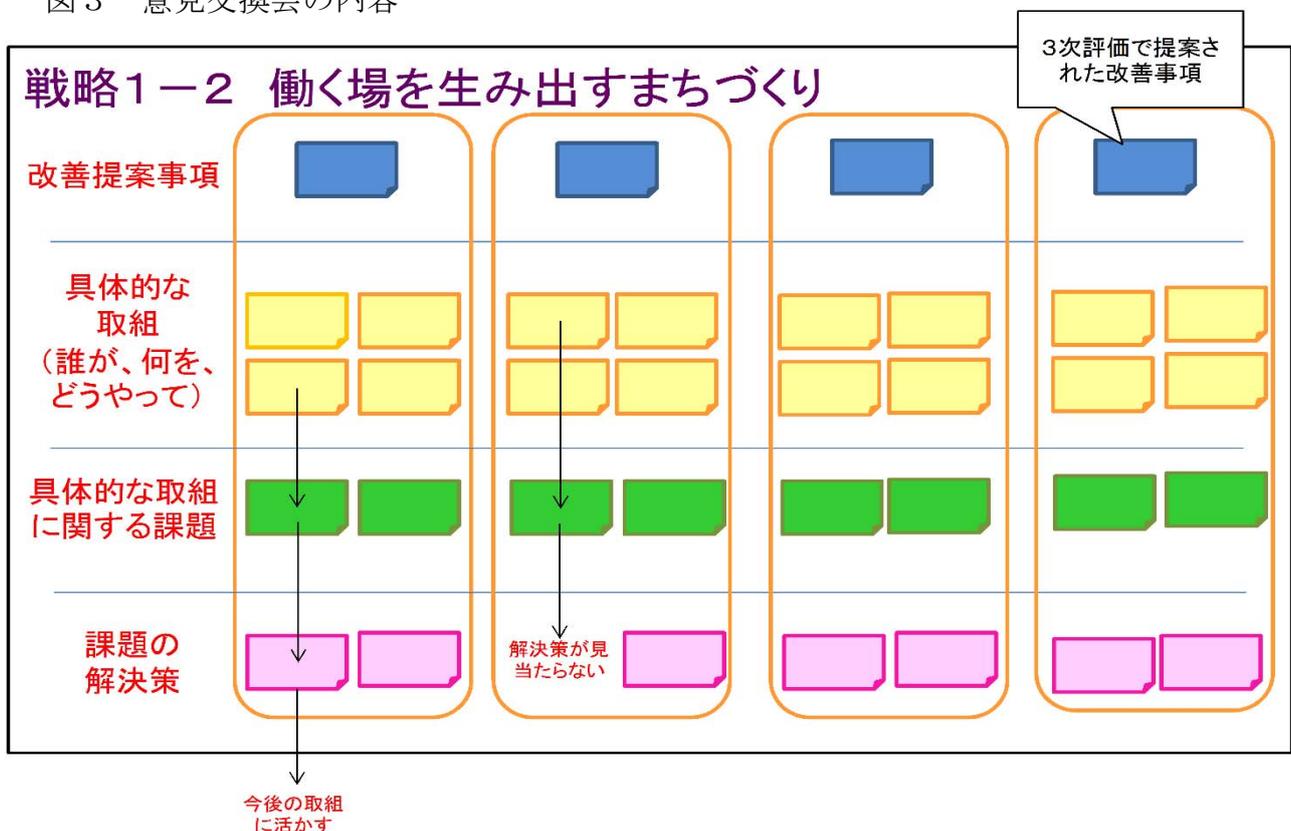
会長及び副会長は両日とも出席し、他の委員はいずれか1日のみ出席とした。

所要時間	内容（7月13日）	内容（7月20日）
1時間	外部評価（戦略1-2 働く場を生み出すまちづくり）	外部評価（戦略3-1 都市拠点にぎわうまちづくり）
1時間	意見交換会（〃）	意見交換会（〃）
昼休憩		
1時間	外部評価（戦略2-2 みどりが価値を生み出すまちづくり）	外部評価（戦略2-3 みどりがつながるまちづくり）
1時間	意見交換会（〃）	意見交換会（〃）
1時間	/	外部評価（戦略3-3 拠点がつながるまちづくり）
1時間	/	意見交換会（〃）

② 意見交換会

2グループに分かれ、同一の改善提案事項について委員と職員（課長又は担当者）による意見交換会（ワークショップ）を行い、現状や課題を共有し、解決策を見出した。

図3 意見交換会の内容



(参考) 当日の様子



意見交換会の様子



今後の改善に向けた取組を具体化

(3) 外部評価の実施について、委員から挙げられた主な問題点・課題

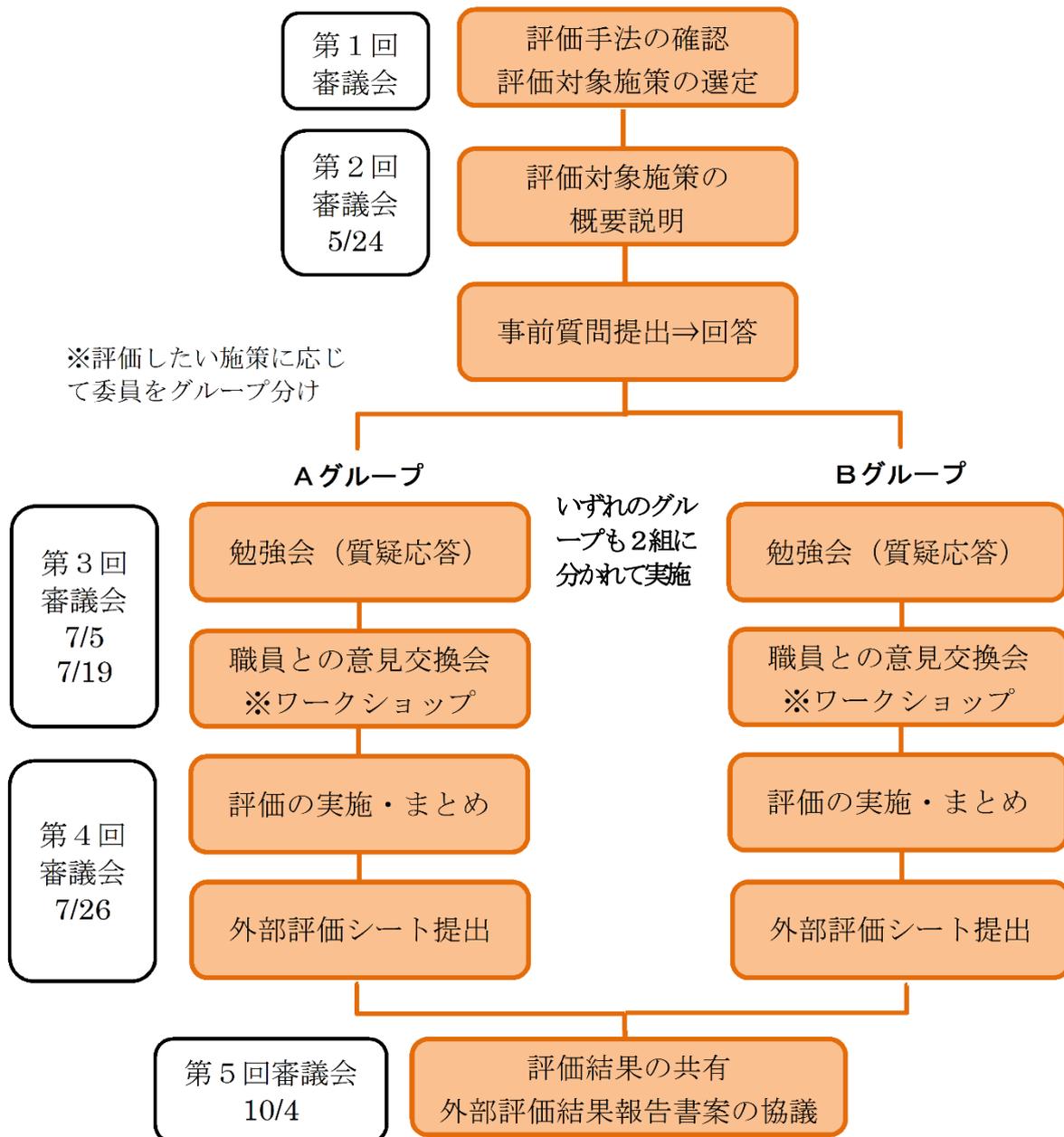
- ・外部評価時に提案された意見に基づいて設定した改善提案事項が多く、議論の深掘りの時間が十分に取れなかった。
 - ・評価シートについて、「A・B・C・D」の4段階評価のため、BとCの判断に苦慮するが、5段階とすると真ん中を選択する傾向が強くなってしまう。
- 平成31年度第1回審議会において審議した結果、5段階評価の場合、真ん中を選択する傾向が強くなることから、「優れている」「やや優れている」「やや劣っている」「劣っている」の4段階評価とした。

4 平成31年度（対象：平成30年度）の概要

平成29年度に評価を実施した4施策の中から2施策を選定した。なお、選定に当たっては、後期基本計画の策定に向けて、達成度が低い施策、複数の分野への影響が大きい施策、今後の方向性の確認が必要な施策を優先するとともに、担当部署のバランスを考慮した。

また、平成30年度の結果を踏まえ、職員との意見交換会は施策や事業の実情等について職員と委員が共通理解を深めるために有益であることから、職員との意見交換会を評価の前に実施した。

図4 平成31年度の日程



(2) 勉強会及び意見交換会（7月5日・19日）の概要

① スケジュール

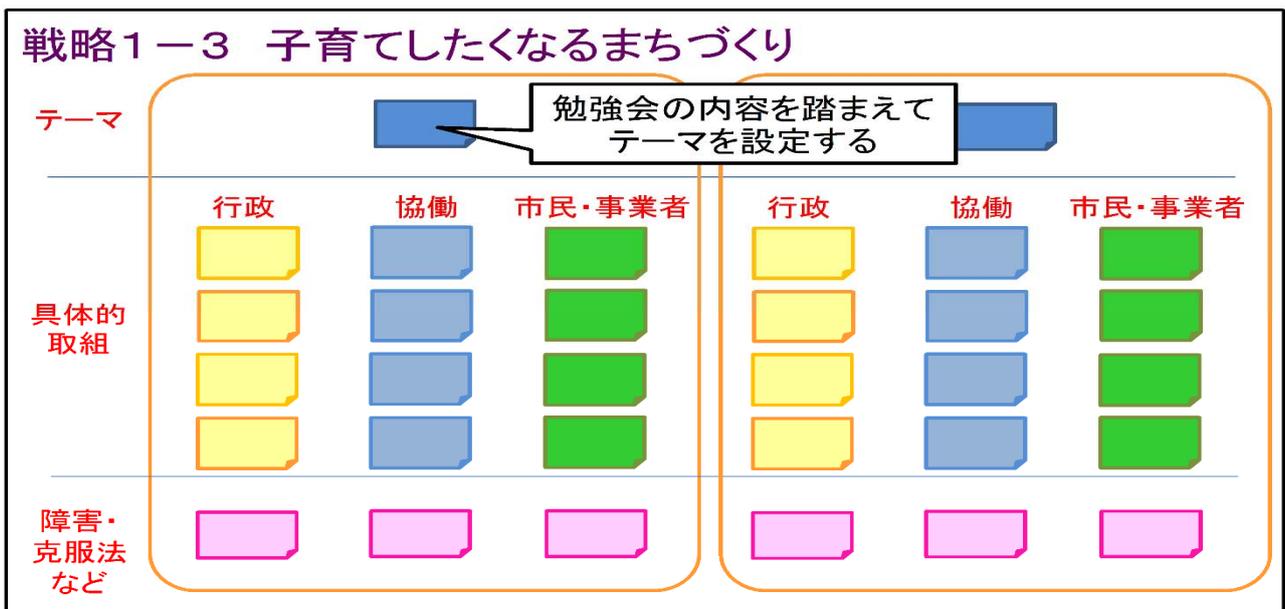
会長及び副会長は両日とも出席し、他の委員はいずれか1日のみ出席。

所要時間	内容（7月5日）	内容（7月19日）
2時間	勉強会（戦略1－3 子育てしたくなるまちづくり）	勉強会（戦略3－2 地域拠点がにぎわうまちづくり）
昼休憩		
2時間	意見交換会（〃）	意見交換会（〃）

② 意見交換会

平成30年度において、テーマが多く議論の深堀が時間的に困難な状況が見受けられたことから、テーマを2つ程度に絞り込んで議論を深めることを優先した。

図5 意見交換会の内容



(参考) 当日の様子



勉強会の様子



今後の改善に向けた取組を具体化

(3) 評価（7月26日）の概要

勉強会（意見交換会）出席者による2部入れ替え制により評価を実施し、総合評価を決定し、今後の改善に向けた提案として意見を付した。なお、次回（10月）において、評価結果を全委員で共有し、外部評価報告書案の協議を行っている。

所要時間	内容	出席者
1時間30分	評価（戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり）	7月5日出席者（職員も同席）
1時間30分	評価（戦略3-2 地域拠点がにぎわうまちづくり）	7月19日出席者（職員も同席）

(参考) 外部評価シート

戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり

項目	内容	評価	コメント（自由記入）
取組状況	目標実現に資する取組となっているか。	A・B・C・D	
	市民ニーズに即した取組となっているか。	A・B・C・D	
	他分野や市民等と必要な連携が図られているか。	A・B・C・D	
成果	目標実現に向けて成果は上がっているか。	A・B・C・D	
	1次評価の進捗状況の評価は妥当か。	A・B・C・D	
課題・方向性	今後の課題・問題点が的確に捉えられているか。	A・B・C・D	
	今後の方向性は妥当か。	A・B・C・D	
分かりやすさ	市民に分かりやすい記載となっているか。	A・B・C・D	
総合評価	施策の総合評価	A・B・C・D	

A	優れている（期待を上回る）
B	やや優れている（期待をやや上回る）
C	やや劣っている（期待をやや下回る）
D	劣っている（期待を下回る）

《今後に向けた改善提案等》

(4) 外部評価の実施について、委員から挙げられた主な問題点・課題

- ・外部評価の意見の取り入れ方、フィードバックの仕方について、評価した成果があるのかがわかりにくい。
- ・計画・指標・進捗管理・評価・フィードバックのサイクルが繋がっていないと評価の実感がしない。
- ・なぜできないのか阻害要因を考えることも必要である。

5 令和4年度（対象：令和3年度）の概要について（今回審議事項）

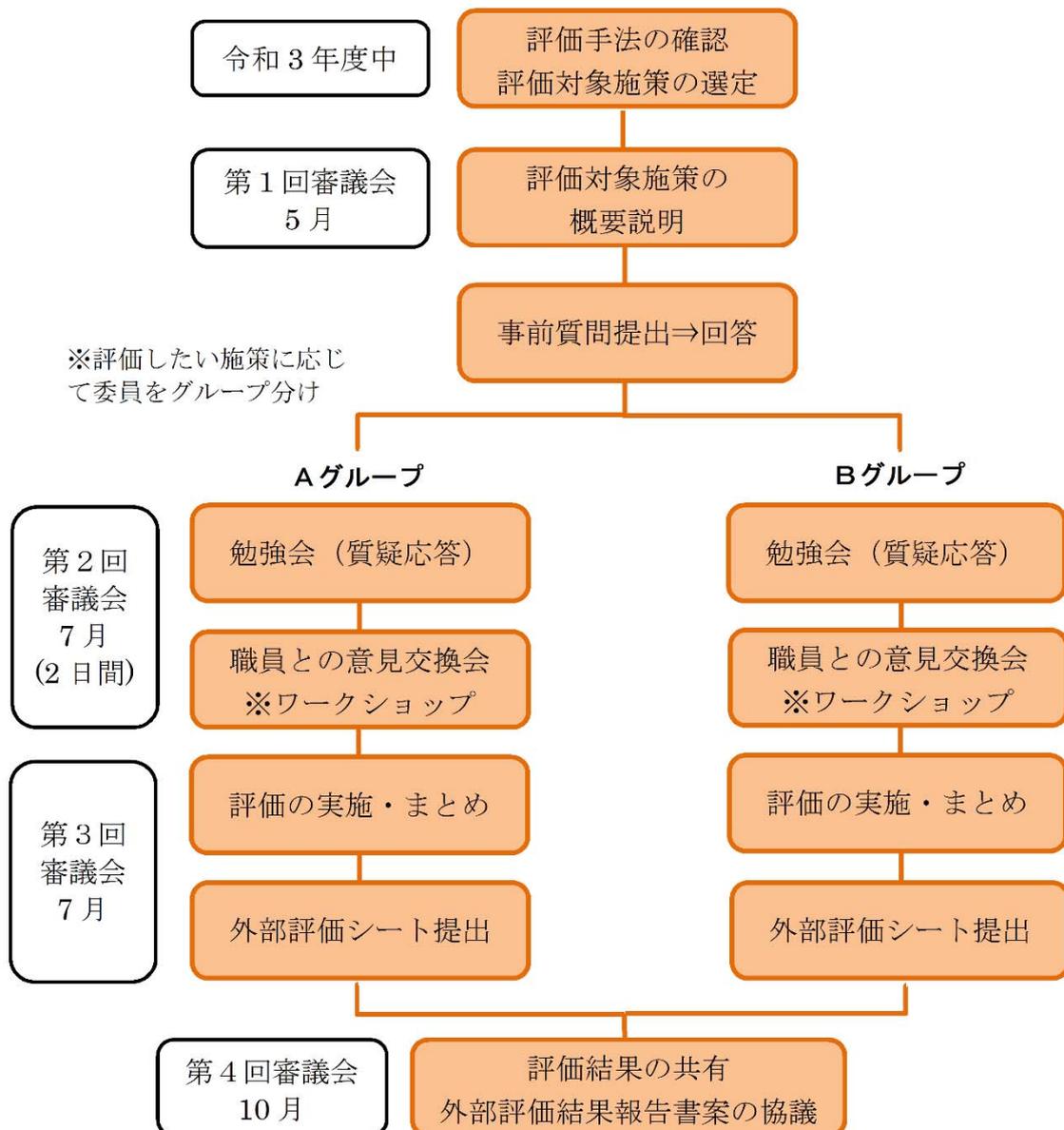
（1）各年度における対象施策数について

現委員の任期中において8施策を1回ずつ評価する。任期は令和5年11月19日までであり、現委員による外部評価を行えるのが令和4年度（対象：令和3年度）および令和5年度（対象：令和4年度）の2年度分であることから、2年に分けて4施策ずつ実施する。なお、各年度の対象施策の選定方法については、次回の審議会において決定することとする。

（2）令和4年度のフローについて

平成31年度に実施した手法を基本とし、2グループに分け、1グループ当たり2施策を評価する。1日当たり2施策を評価することから、1施策の所要時間を2時間（勉強会1時間、意見交換会1時間）とする。

図4 令和4年度の日程（案）



(2) 勉強会及び意見交換会の概要（原則午後からとする）

所要時間	内容（両日とも同内容）
2時間	勉強会（1時間）、意見交換会（1時間）
2時間	勉強会（1時間）、意見交換会（1時間）

6 その他行政評価の実施に係る審議事項について（意見をいただき、次回までに事務局で再度検討する事項）

(1) 施策評価シートの記載事項について

これまでに審議会等であげられた課題等に対応するため、別添案1のとおりとする。

(2) 外部評価の評価項目について

前回の評価シートを基本とし、別添案2のとおりとする。